



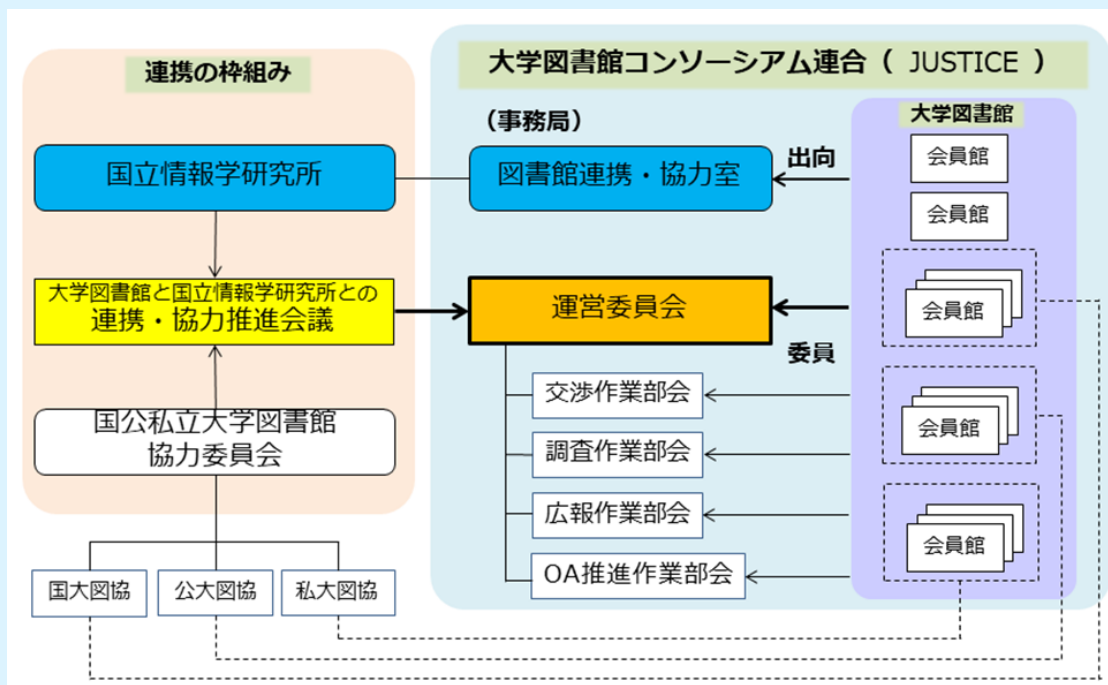
- 【特集1】 2025年度JUSTICE活動予定
- 【特集2】 JUSTICE総会開催報告
- 【特集3】 『電子ジャーナルに関する学内向け説明資料：素材集』を改訂＆『OA編』を追加！
- 【特集4】 会員館のキニナル取り組みPick Up！
- 【Topics】 委員長交代に伴うご挨拶、事務局よりご挨拶



〈JUSTICE OUTLINE〉

大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）は、2011年4月に設立され、2025年は事業開始から15年目となります。

JUSTICEは、「大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議」の下に設置されており、電子ジャーナル等の電子リソースに係る契約、管理、提供、保存に係る総合的な活動や、それらの業務に携わる人材の育成等を通して、わが国の学術情報基盤の整備に貢献することを目的としています。



〈JUSTICEの事業〉

- ・ 出版社等との交渉を通じた電子リソースの購入・利用条件の確定
- ・ 電子ジャーナルのバックファイルや電子コレクション等の拡充
- ・ 電子リソースの管理システムの共同利用
- ・ 電子リソースの長期保存とアクセス保証
- ・ 電子リソースに関わる図書館職員の資質向上
- ・ その他必要な事業

〈JUSTICEお役立ちツール〉 ※会員館限定ページ掲載コンテンツ

- ・ ウェブサイト

まずは「はじめてのJUSTICEウェブサイト（コンテンツ案内）」をご覧ください。

- ・ 電子資料契約実務必携

電子資料の契約実務にあたり、必ず手元におきたい「教科書」です。2023年度に大幅改訂し、『第2版』として生まれ変わりました！

- ・ 電子ジャーナルに関する学内向け説明資料：素材集

電子ジャーナルなどの学術情報基盤の現状と課題を、会員館のみならず幅広い立場の方々と共有し、理解を深める際に利用していただける素材・データを集めています。この度改訂し、OA編を追加しました！特集3をご覧ください。



【特集 1】2025年度JUSTICE活動予定

2025年度のJUSTICEの活動予定をお知らせします。

JUSTICEでは電子資料契約にかかわる様々な情報を発信して皆さまの日常業務をサポートしていますので、ぜひご活用下さい。なお活動予定は急な変更の可能性があります。

提案書と版元提案説明会

提案書はJUSTICEが出版社と交渉し合意した会員館向けの契約条件を記したものです。

毎年9月頃開催の版元提案説明会では出版社のプレゼンテーション（全体説明）のほか、各種企画を用意し、会員館の皆さまに、提案書や出版社の各種情報を入手する場を提供しています。

気になる提案書は事前にチェックして、直接出版社に尋ねてみましょう。

契約状況調査

JUSTICE会員館の契約状況について5月～6月頃に年1回の調査を行っています。調査結果は統計資料としてJUSTICEウェブサイトでは会員館に共有しています。購読タイトル数の推移や出版社別契約状況などを知ることができます。

出版社との交渉に臨むためには、会員館の最新契約状況の把握が不可欠です。回答へのご協力をよろしくお願いします。

電子資料契約実務研修会

会員館の電子資料契約実務担当者向けに毎年7月頃開催。初任者は基礎を学ぶことができ、経験者には年1回の復習にもなる貴重な機会です。

	JUSTICE		会員館	
	対出版社	対会員館		(契約業務)
2025 4月	2026年向け 出版社との交渉	合意した提案書は随時開示	契約状況調査	JUSTICE会員館向けページで、提案書や調査結果等を公開しています
5月				実務に役立つ講演や事例報告を予定。オンラインなので、全国から参加できます！
6月				電子資料契約実務研修会 2025.7.25（オンライン開催）
7月				版元提案説明会 2025.9.10-11（対面開催）
8月				学術総合センター会場で開催。出版社と直接対話できる機会です！現地に来られない方にもウェブサイトでの情報提供を予定しています。
9月	2027年向け 交渉計画の策定／予備交渉開始	結果公開（予定） 契約状況調査	具体的な契約の検討・手続き	出版社によって申込期限が異なります。契約の申込締切に注意！
10月				2025年度総会 2026.3.6（オンライン開催）
11月				
12月				
2026 1月				
2月				
3月				

【注意】 出版社交渉に関わる内容や提案書、契約状況調査結果はJUSTICE会員館限定の情報です。外部への公表はなされないようご注意ください。

会員館限定ページ

【特集 3】『電子ジャーナルに関する学内向け説明資料：素材集』を改訂＆『OA編』を追加！

JUSTICEウェブサイトに掲載している『電子ジャーナルに関する学内向け説明資料：素材集』を改訂しました。前回2023年3月の改訂以降の状況を反映し、最新の内容に更新しています。さらに新しく『OA編』を追加しました。一部のページは一般公開可となっています。学内での広報や説明等に活用いただき、広く理解を深めるために幅広くお役立てください。

素材集

会員館限定・一部公開可

1. 学術雑誌の特殊性

雑誌の価格はなぜ高騰する？

2. 統計 日本の学術雑誌購読の現状

3. JUSTICEの活動

購読費高騰の対策は？

4. 電子資料の高騰に関する各大学の取り組み事例

5. 政府機関、学術団体等の電子資料に関する提言・見解

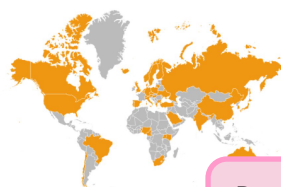
6. 海外の情勢

粗悪学術雑誌とは？

7. その他

国内政策や海外の動向を集約しています

署名機関
→46の国と地域の157機関(2025.1.24時点)



日本からは
・物性グループ(2017.12.1署名)
・JUSTICE(2016.8.9署名)
が署名(2025.1.24時点)

PowerPointファイルなので加工して利用可能です

OA編

一般公開可

オープンアクセス (OA) とは

論文のオープンアクセス率の状況

日本における即時OA義務化

研究成果のOA化の意義・優位性

電子ジャーナル費とAPC支払推定額の推移

ほか

オープンアクセスの現状説明にご活用ください！

オープンアクセス (OA)

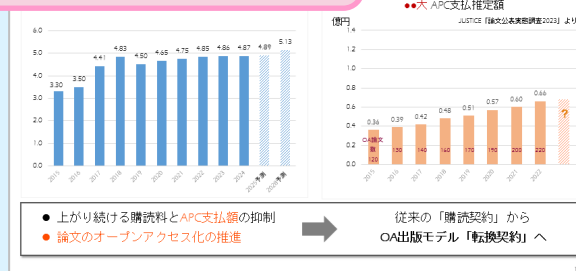
Budapest Open Access Initiative (BOAI) 宣言 (2002年)

「経済的、法的または技術的な障壁なく、すべてのユーザーが、論文のフルテキストを閲覧したり、ダウンロード、コピー、配布、印刷、検索、または、リンク、インデックス作成のためのクローリング、ソフトウェアへのデータとしての投入、その他の合法的な目的で、公衆に開かれたインターネット上で無料で利用できるようにすること」

Gold OA	Green OA	Bronze OA
ジャーナルでの論文出版によるOA	セルフアーカイビング	
フルOAジャーナル 購読契約をせず、すべての論文をOAで提供するジャーナル	機関リポジトリ ●大学のリポジトリ（ここに白紙版のリポジトリ）	出版者サイトで無料公開されているが、OAのライセンスが付与されていない論文
● APCが必要 ● ハイブリッドは購読料との二重払い？ ● 可視性が高い→より大きいインパクト ● CCライセンスでの公開→著者に著作権が確保される	分譲リポジトリ ● 著者の費用負担なし ● 出版者の著作権ポリシーにより、多くは著者最終稿・エンタープライズありでの公開 ● 大学の資源・セーフティネットとして、研究成果を蓄積・公開 ● 質保証の点は、最終的に出版者で担保	Diamond OA 研究機関、学術的機関が資金提供することにより、著者が使用を負担することなくOAにするもの

グラフや図で分かりやすくまとめています

支払推定額の推移



JUSTICEウェブサイト（会員館限定）からダウンロードできます。
ホーム> 会員館限定ページ> 『電子ジャーナルに関する学内向け説明資料：素材集』

会員館限定ページ



堀委員長

小陳前委員長

退任

大阪大学附属図書館事務部長*

小陳 左和子（こじん さわこ）

* 退任時

このたび、国立大学職員としての定年退職を迎えると同時に、2年務めました運営委員会委員長を退任することとなりました。

2011年度にJUSTICEが発足してから、常に課題を抱えて活動してきた14年間ではありましたが、この2年は特に、オープンアクセス推進のための国としての基本方針や具体的施策の検討と策定・公表というトピックに、JUSTICEとしても大きく影響を受けた時期でもありました。自らの大いなる力不足を実感しつつも、委員長としてこの重要な局面に関わらせてもらったことをありがたく感じております。

JUSTICEの活動を通じて得られた経験、委員や会員館の皆様との交流は、私にとって何物にも代えがたい財産となりました。また、JUSTICE設立と持続的運営のために奔走された先輩方の情熱と使命感を次の世代へ繋ぐという役目を、少しでも担えたのであれば幸いです。

会員館の皆様からの貴重なご意見や情報提供、そして委員の皆様への献身的なご尽力がJUSTICEの最大の強みです。引き続き「みんなのJUSTICE」であることを願っております。どうもありがとうございました。

就任

九州大学附属図書館eリソース課長

堀 優子（ほり ゆうこ）

会員館のみなさまへ。

この度、小陳前委員長から運営委員会委員長を引き継ぎました、九州大学の堀です。

これまで4年間、JUSTICE運営委員会委員を務めてきて、事務局のみなさんと全国にちらばる作業部会委員さんの力合せのすごさ、JUSTICEが積み重ねてきた経験とデータの厚み、会員館のみなさまからの期待の大きさを肌で感じてきました。今回運営委員会委員長を拝命し、身の引き締まる思いがしています。

生成AIの登場などにより、教育・研究の現場や学術情報流通の世界が異なる次元へ変容する中、国の即時オープンアクセス方針が示されるなど、大学図書館もかつてない大きなうねりの只中にいます。どの大学でも、研究者や学生にとって何が本当に必要なのを見極めながら、時流に対応していかねばなりません。

そのような中、わたしたち大学図書館で働く人たちの、大学を越えた横の連帯がこれまで以上に必要になる、力になると考えています。

JUSTICEが2011年の設立以来大事にしてきた「みんなのJUSTICE」！ この言葉を常に胸に留め、委員や事務局のみなさんとともに、会員館のみなさまと対話をしながら活動していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



よろしくお願いします！ & 大変お疲れ様でした！

就任のご挨拶

2025年4月より、事務局スタッフが交代いたしました。

着任
いたしました！



よろしく
お願いします！

西村事務局員

西田事務局員

事務局員

西村 恭佑（にしむら きょうすけ・富山大学）

富山大学から参りました西村です。
多くのことを学びながら、皆様のお力になれるよう精一杯務めていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

事務局員

西田 朋子（にしだ ともこ・京都大学）

京都大学から参りました西田です。
慣れないことばかりで、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、2年間精一杯頑張っていきたいと思ひますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

退任のお知らせ

事務局員 芳川 佳奈（在任期間：2023年4月1日～2025年3月31日）

事務局員 船越 美音花（在任期間：2023年4月1日～2025年3月31日）

実務研修修了のお知らせ

実務研修生 菅原 真紀（研修期間：2024年4月1日～2025年3月31日）

引き続きよろしくお願ひいたします。

事務局長 成澤 めぐみ

特任専門員 熊淵 智行

事務補佐員 関口 恵理

実務研修成果物『はじめてのRead & Publish 契約検討ガイド』をJUSTICE ウェブサイトで公開しています！

会員館限定ページ＞その他会員館向け情報＞セルフラーニング

作業部会委員を募集しています

JUSTICE が今後も活動を展開していくためには、会員館ご所属の皆様によるご協力が不可欠です。JUSTICE の活動を支える「交渉作業部会」「調査作業部会」「広報作業部会」「OA 推進作業部会」において、引き続き作業部会委員を募集しております。他の委員との交流を通じて、新しい発見があったり、業務に役立つヒントが得られたりするかもしれません。活動についてのご質問があれば、JUSTICE 事務局までお気軽にお問い合わせください。一緒に日本の学術情報の未来を支えていきましょう！

ご意見・ご要望があればいつでもJUSTICE事務局（justice-help@nii.ac.jp）までお寄せください。